



家庭学習の手引き

1 家庭での学習を習慣化しよう

*学習時間のめやす

低学年30分 中学年40分 高学年60分

*学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起き ○朝食は必ずとる ○朝の排便
- テレビは1日1時間（ゲームも含めて）
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。

*学習3つのポイント

- ・テレビを見ながらしない。
- ・よい姿勢でする。
- ・机の上をきれいにしておく。



2 家庭学習の参考例（各学年共通）

国語 ・漢字練習 ・意味調べ ・視写 ・日記 ・音読
 ・漢字テストでまちがった漢字を覚える。
 ・ことばの使い方調べをする。

算数 ・計算練習 ・百マス計算
 ・テストでまちがった問題をもう一度ノートに写して解いてみる。

社会・理科・総合
 ・勉強したところに関係があることがらを本や資料などで調べる。

市販のドリルや問題集などに取り組んでみるのもいいでしょう。

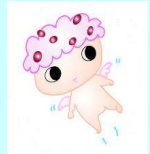


小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となるものです。特に「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は欠かすことのできない「生きるための力」です。

学校では、少人数指導やTT（ティームティーチング）など、「個に応じた指導」の取り組みを通して基礎学力を高めるために努力していますが、家庭と協力することによりさらにその力が何倍にも高められます。

したがって家庭学習の習慣化こそが子どもの「生きる力」を高めるのです。

この手引きをよく目につく場所に貼っておき、家庭学習の習慣化を図りましょう。



3 各家庭で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ①ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ②助詞（へ・を・は）の使い方が分かる。
- ③たし算・ひき算ができる。
- ④100までの数を順に並べたり、大小に比べたりできる。
- ⑤80字の担当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ⑥鉛筆を正しく持って字が書ける。

逃げない子にする2年生

- ①160字の担当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②順序よくお話をすることができる。
- ③2桁、3桁のたしざん ひきざんができる。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤定規を使って筆算をきれいに書きながら計算ができる。
- ⑥決められた長さの直線を正しく引ける。

分岐点を乗り越える3年生

- ①200字の担当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②短い詩が暗唱できる。
- ③簡単なことわざを知っている。
- ④主語と述語の意味がわかる。
- ⑤かけ算・わり算ができる。
- ⑥はかりを使って重さがよめる。
- ⑦コンパスを使って簡単な図形が書ける。



「9歳の壁」を破る4年生

- ①200字の担当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ④国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ⑤わり算の筆算ができる。
- ⑥小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑦分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑧地図を使って見知らぬ場所や地名が調べられる。
- ⑨47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。

天と地の差がつく5年生

- ①185字の担当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②今までに習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥図形（三角形・平行四辺形など）面積が求められる。
- ⑦パソコンでローマ字入力ができる。
- ⑧47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。

中学生活に希望がもてる6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
（6年生では181字）＜小学校で習得する漢字1006字＞
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③分数・小数の混合計算ができる。
- ④ともなって変わる2つの量の関係が分かる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる。
- ⑥歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる
- ⑦重要な年号を30程度覚える。
- ⑧日本国憲法の前文が暗唱できる。
- ⑨三権分立など社会用語のだいたいの説明ができる。
- ⑩47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。
- ⑪世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ⑫理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ⑬パソコンで速くローマ字入力ができる。

学力向上は
家庭学習の
習慣化から



4 生活の中で、見えない学力をつけよう



- ア 読書は「見えない学力」を高めます。
- イ 国語辞典・漢和辞典その他の事典や図鑑類を身近において調べよう。
- ウ 日本地図・世界地図を身近において調べよう。
- エ 地球儀をテレビの隣において調べよう。
- オ ニュース番組を親子で見て話し合おう。
- カ 小学生新聞など、新聞を読もう。
- キ 百人一首など詩歌の暗唱をしよう。
- ク 将棋や囲碁など頭を使うゲームをしよう。
- ケ 自然や生き物とふれあい、くわしく観察しよう。
- コ 家の仕事をめんどろがらないでやろう。

